

宮田公人通告質問要旨

商工行政について

平成18年度予算において、どのように商工会と商工会議所間の補助金格差是がなされているのか

- 本年度の予算付けの根拠の説明と、今後の行革を進めて行く上でどのような予算対応を取って行くのか

市民の健康増進施策と高齢者福祉について

『生き生き老人クラブ健康増進事業』における、老人クラブ入会促進策としての入浴券配布について

- 機会の不平等が生じているのではないか
- 事業実施後入会者は増加したのか
- 680万円の予算消化率は何%か
- なぜ金券なのか、入浴券×2で良いのではないか
- 『ゆらら』での利用の際、本人確認はなされているのか

市民の健康増進施設としての朝霧温泉『ゆらら』のあり方について

- 『ゆらら』には交流人口の増加促進と市民の健康増進施設としての役割が課せられているが、市民利用料金（市は差額補填をしないという前提で）を設定すべきではないか

合併前後の財政運営について

旧成羽町・川上町の財政運営について、経常収支比率の悪化という視点から市長、第一助役に原因説明を求める

- 平成16年度岡山市町村年報 p 177 参照
- 宮田HP <http://ww1.tiki.ne.jp/~kimihito/1-4keijyou.pdf>参照

これらを利用して議論を進めます

新高梁市の財政の現状について、シミュレーションでは実質収支が平成19年度から急激にマイナス方向に転ずるが、どのように対応して行くのか

- 財政説明会資料 <http://ww1.tiki.ne.jp/~kimihito/zai-gen.pdf> 参照
- 宮田HP <http://ww1.tiki.ne.jp/~kimihito/real-sysi.pdf> 参照

厳しい市財政の現状について徹底的な情報公開と市民への説明を進めると共に、既存の政策や事業の見直しによる、断固とした行財政改革に向けた取り組みが必要ではないか

これらを利用して議論を進めます

成羽病院について

現在の基本構想・基本設計の妥当性について

- 病院特別委員会で民間病院の経営者のコメント、吉永・日生・矢掛病院を視察したが各病院と成羽病院のデータ比較をすると明らかに計画とその実現性に問題があると言いがようがない

改築後の経営シミュレーションの妥当性について

- どの病院も、建設予算規模と建て替え後の経営シミュレーションとのバランスを計っているが成羽病院にはそれが無い
- 病院事業債の償還についても、シミュレーションに反映されていない
- 医業外収益に占める、一般会計からの基準繰入についての見通しはどうか
- 職員給与の格差が今後是正されて行く中で、人件費比率の見積は妥当か
- 医業収益は順調に伸びているがもっとシビアな積算が必要なのではないか
- 経営形態はこのままでよいのか（公営企業法全部適用・公設民営など）

今後の医師の確保について

- 今後の問題としていったい誰が医師の確保に責任を持つのか（市長？ 医院長？）
- 視察先の他の病院ではこの点にかなり努力し実績を上げているように見受けられたが・・・

改めて新高梁市の医療・保健・福祉の今後を想定したグランドデザインを描く必要があるのではないか。(新たな基本構想・基本設計を作成するという選択肢も含め)

- 高梁圏域の医療施設の分布状態についての考察の必要性
- 人口動態についての考察の必要性
- 市民ニーズについての考察の必要性
- 高梁市における成羽病院の本来的位置付け
- 厚生労働省の動き